



にじいろ通信 No.31

発行:社会福祉法人健翔会 にじいろ
 所在:埼玉県行田市忍 1-11-1
 TEL:048-598-5252 FAX:048-501-6031
 責任者:にじいろ管理者 齋藤真知子
 MAIL:nijihiro@kenshokai.net

「にじいろ」は児童福祉法により、通学している障害児に対し放課後等に日中活動を提供する健翔会の第3号事業所です。

子どもなんだもん、遊びたいよ!!

にじいろのご利用について 定員10名 早めに声を掛けてください!

「依存先を増やす」

児童発達支援管理責任者 齋藤真知子

9/14に行田市障がい者ネットワークが主催した、「相模原障がい者施設事件の犯人の心理から、障害者の人権を考えよう」という研修会に参加しました。東京大学の熊谷准教授の「排除と暴力」をテーマにした講演では、被害者も加害者も社会に排除された背景があり、その社会を作り出したのは、誰でもない「私たち」だとのことでした。人は誰でも身近にいる人に頼ったり頼られたり「依存」しながら生きています。この「依存」で社会が成り立っています。この依存先がないとどうなるのか。人に頼らずに、自分自身の能力を信じ、強く賢く美しくあろうとします。整形依存はこの能力依存の典型だそうです。また、アルコールやパチンコ、



9/16 秋の遠足で「ぐんまこどもの国」に行ってきました。ふわふわドームやおもしろ自転車、虫取りなど思い切り遊びました。



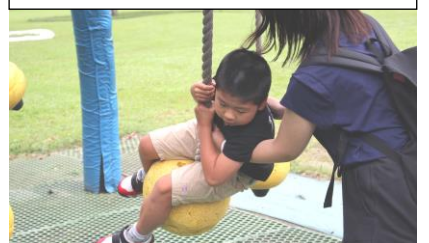
9/21土曜くらぶで12組のご家族と「BBQ大会」を行いました。野菜収穫、調理、火起こし担当に分かれて準備を行い、お肉や焼きそばを焼いて楽しんで気分もリフレッシュ!!

薬物など物質に依存するケース。遠くにいる人を神格化、カリスマ化して依存してしまうこともあります。これらの「病的な依存症」は、身近な人に依存出来ていないという事です。社会から「孤立」しないように、私たち自身がたくさんの依存先を探さなければなりません。

「あなたには私しかないのよ」という母子の共依存は時に虐待の温床になると言われます。特に子ども自身や障害者自身が家族以外の依存先を探すのは難しいです。なので家族がたくさんの依存先を探していくことが必要だということです。熊谷准教授自身が介助を必要とする障害者ですが、30人の介助者がいれば、都合が合わない人がいても安心できるでしょう、と言っていたのが印象的でした。にじいろも、皆さんの依存先の一つになっていれたいと思います。



虫取りが大好きな子どもたち。トンボやアゲハチョウ、バッタなどを捕まえました。



もう、このボールから降りたくありませんと言わんばかりに、楽しんでます。



楽しくて思わず笑っちゃいます。いつまでもいつまでもジャンプはできます♪



良い季節になって、外遊びが増えてきました。交通公園や古代蓮公園は、にじいろの子どものための良い遊び場になっています。

- ★10月のにじいろ 2日4日:レッツダンシング 14日:健翔会合同大運動会
- 18日:レクレーション「穴あきクイズ」 19日:ふれあい福祉健康祭り
- 26日:行田特別支援学校「スマイル祭り」 28日:理科実験&製作「ペットボトルロケットを飛ばそう」
- 31日:ハロウィンパーティー
- ★にじいろで欲しいもの 知育玩具 プール タブレット プラレール ぶら下がり健康器
- ★ありがとうございました 大島様:おもちゃ、ロデオボーイ 須加様:お菓子